

愛岐処分場



処分場施設配置

浸出水処理施設

稼働開始：令和6年4月(新処理施設)

処理方式：生物処理→凝集沈殿処理→砂ろ過・活性炭吸着処理→消毒

処理能力：1,600m³/日

小規模破碎施設

稼働開始：平成5年4月

処理能力：20トン/日

貯水池

埋立地境界

埋立地

廃棄物貯留ダム(3)

防災調整池(2)



施設案内図



愛岐処分場

〒507-0044 岐阜県多治見市諏訪町川西75番地
Tel. 0572-23-1201

事業主体

名古屋市

〒460-8508 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
Tel. 052-961-1111

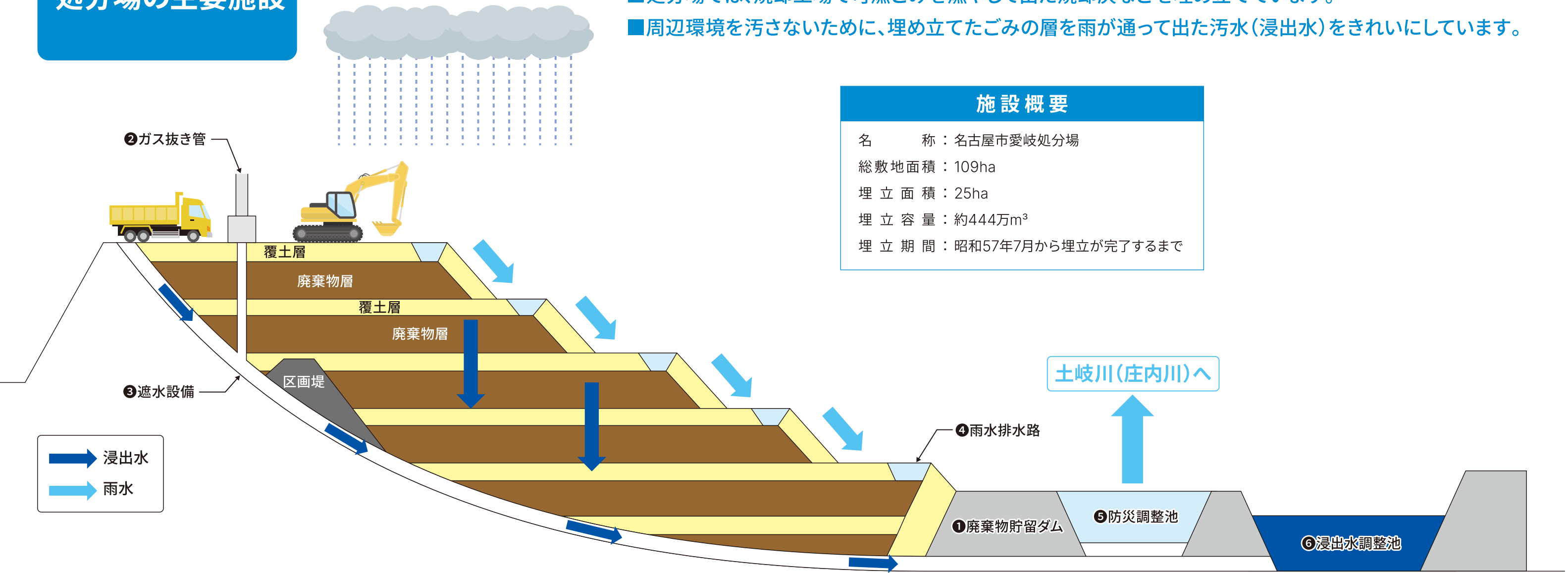
施工(プラント機械・電気)

Kanadevia
Technology for people and planet

〒559-8559 大阪市住之江区南港北1丁目7番89号
Tel. 06-6569-0001

処分場の主要施設

- 処分場では、焼却工場で可燃ごみを燃やして出た焼却灰などを埋め立てています。
- 周辺環境を汚さないために、埋め立てたごみの層を雨が通って出た汚水(浸出水)をきれいにしています。



埋立作業の様子



埋立方式 : サンドイッチ工法

ごみを3mの高さまで水平に敷きならし、その層の上に50cmの土砂を覆う組み合わせを繰り返す方法で、**廃棄物層と覆土層を交互に積み重ねる**ものです。最終的に被せる土砂は3mの厚さにします。

主要施設の解説

① 廃棄物貯留ダム

埋立地は山の斜面を利用しており、谷の下流部にごみの流出を防止するため、廃棄物貯留ダムを設けています。また、ごみの層がずれ落ちないように、斜面の中間位置に区画堤を設けています。



② ガス抜き管

埋立後にガスが発生することがあります。そこで、ガス抜き用の有孔ヒューム管(井桁)を立ち上げ、このヒューム管から発散するようにしています。



③ 遮水設備

雨が降ると、地面にしみ込んだ雨水は埋め立てたごみの中を通り、汚水(浸出水)となります。この汚水(浸出水)により公共の水域や地下水を汚染しないように遮水シートを張っています。



⑦ 浸出水処理施設へ

④雨水排水路

埋立が完了したところは平場の周辺や法面に排水路を整備して、雨水をできる限り表面で排除し、地面にしみこんで浸出水とならないようにしています。



⑤防災調整池

大雨によって一時に大量の雨水が河川に流入しないように、雨水を雨水排水路で防災調整池にいったん集め、ここから少しずつ放流します。



⑥浸出水調整池

浸出水は、集導水管により、浸出水調整池に集めます。その後、浸出水処理施設に送水管で送ります。



小規模破碎施設

処分場に持ち込まれる自己搬入ごみの一部を破碎した後、焼却工場で焼却処理しています。



⑦浸出水処理施設での処理方法

(1)生物処理

微生物を利用して有機物を除去し、また富栄養源である窒素を除去します。



槽内

(2)凝集沈殿処理

薬品を混ぜて汚れの粒を作り沈殿させ、水と污泥に分離します。



槽内

(3)高度処理

砂ろ過塔で水をろ過し、活性炭吸着塔で色や水中に溶け込んでいる汚濁物質を吸着します。



砂ろ過塔

(5)污泥処理設備

污泥脱水機で水分を取り除いた污泥(脱水ケーキ)は埋立処分します。



埋立地へ

(4)消毒・放流

処理した水を消毒後、河川へ放流します。



土岐川(庄内川)へ放流

中央監視室

全ての設備を集中監視します。監視画面は各機器の運転状態が表示され、処理状況が確認できます。

